



ちいさな手



令和5年6月 第49号
 社会福祉法人 済生会 済生会川口乳児院
 〒332-0021 埼玉県川口市西川口6-9-7
 TEL 048-256-8500
 FAX 048-256-9870



体調管理が難しい季節がやってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

当院も移転新築が決定し基本設計がスタートしました。限られた場所ですが、子どもたちにとって安心安全な生活環境の場所であるように、働く職員にとってもより良い養育環境であることを肝に銘じて進めていきます。皆様のご指導宜しくお願い致します。



はじめまして、今年度より済生会川口総合病院より異動してまいりました。どうぞよろしくお願い致します。

長らく続いていた新型コロナウイルス感染症の対応が5類の位置づけとなり、外出する方も増え少しずつ活気が出てきています。しかし一方で、コロナ禍による外出控えなどによって、からだや心のフレイル（健康な状態と要介護状態の中間の段階）が進んでいるともいわれ、人と人の「つながり」にも影響が出ています。

今年は、アフターコロナ元年とも言われています。これからも、地域の方々や保護者の皆様との「つながり」を大切に、子どもたちの健やかな養育に力を尽くしてまいりたいと思います。



ひなまつり



3月3日、各クラスでひな祭りの行事を行いました。女の子の節句であるひな祭りは、元気にすくすく、病気をせずに育ちますようにという願いが込められています。色鮮やかな着物やフリルのついたドレスに着替えて、可愛く変身です。ヘアセットもしてもらい、女の子たちはドキドキ・ワクワクな表情をしていました。7段飾りのお雛様の前で思い思いのポーズを決め写真を撮りました。おやつには雛あられをみんなで食べ、今年のひな祭りも楽しく過ごす事ができました。



大きな鯉のぼりに興味津々でした。「こいのぼり」の歌もバッチリ覚えて、大きな声で歌うことができました。1番しか練習していないのに、当日は3番まで歌うことになり、きょとんとしたお顔。手拍子をしたり、自分なりに歌ったりして楽しんでいました。

次に、子どもたちがお絵描きをして作った鯉のぼりを、大きな型紙に一人ずつ貼っていきました。子どもたちの作った鯉のぼりが鱗になり、個性豊かでカラフルな鯉のぼりが完成しました。みんな、院庭の鯉のぼりに負けないうくらい大きくな〜れ。



5月5日は子どもの日で、調理室でも行事食を作りました。3色のこいのぼりの形のお寿司や兜巻きはとても可愛らしく仕上がり、子どもたちに大人気でした。

行事食は食事から季節感を感じたり、健康を願う気持ちが込められたりしているもので、可愛い盛り付けと彩りに工夫を凝らし、楽しんで食事できるメニューにしています。

行事食に限らず「今日はどんなメニューかな？」と子どもも大人もワクワクするような食事作りを、続けていきたいと考えています。



新入職員紹介



新人さんにインタビューしてみました！

- ①乳児院を選んだきっかけ
- ②休日の過ごし方
- ③抱負



保育士 (T.N)



①子どもたち一人ひとりとの関わりを重視した保育がしたいと考えた為です。また大学で乳児院という施設を知りました。どんな背景のある子どもたちがいるのか、子どもたちが生活している場所はどんな所なのか、知らないことがたくさんあり関心を抱きました。

②友人と出かける事が多いです。何も予定がない日には、お菓子を片手に映画をみたり、愛犬とお昼寝をしたりして過ごしています。

③入職してから、子どもたちのかわいらしさに癒される毎日です。大好きな子どもたちが安心できる存在になれるように元気いっぱい頑張ります！

保育士 (S.N)

①大学の講義内で乳児院の存在を知りました。映像を観て勉強をし、乳児院での実習を経験した中で、一人ひとりとじっくり関わるところに魅力を感じました。また、家庭復帰の為に、自分でもできる支援をしたいと考えたのがきっかけです。

②休みの日は一緒に住んでいるハムスターと遊んだり、映画や好きなアニメを観て過ごしています。

③仕事を覚えながら、子どもたちとじっくり向き合い、その子の気持ちに寄り添ったり、その子に合った関わり方ができるようになりたいです。



保育士 (O.R)



①大学一年の授業で見た実際の乳児院の映像です。それを見てショックを受けるとともに、この子どもたちの助けや支えになりたいと感じ、乳児院で働こうと思いました。

②休日はドライブをすることが多いです。最近だと秩父にある美の山公園へ夜景を見に行きました。

③子どもの記憶に残らずとも潜在意識に残るようなあたたかな愛情をたくさん注ぐ職員になれるようがんばります。



看護師 (S.K)



①これまで私は、助産師、看護師として働き、望まない妊娠によって生まれた赤ちゃんを乳児院や養子縁組へ送り出したり、虐待によって心身に傷を負った子どもの救命、看護に携わってきました。その中で、救命も重要な役割ではありますが、退院後の生活に対して、長期的なケアが求められているのではないかと考え、そのお手伝いがしたいと思い乳児院に入職いたしました。

②息子が一人と、イヌを4匹飼っているのですが、その世話に明け暮れています。 🎯 🍵 🍌 🍷 🍷

③子どもたちの個性を理解し、子ども達が必要としている支援ができればと考えています。 🧡 🧡 🧡 🧡 🧡 🧡

済生会川口乳児院 概要

〔理念〕

済生会の社会的役割を理解し、心身共に健やかに成長できる保育看護を提供し、児童と保護者を支援します。

〔基本方針〕

1. 根拠に基づいた適切な養育の提供。
2. 児童の権利を尊重し、健康と安全性を高める。
3. 親子の絆を大切に、家庭との信頼関係を築き連携を図り家庭復帰を支える。
4. 病気や障害を持つ児童は、必要な医療を受けながら健康に育つよう援助する。